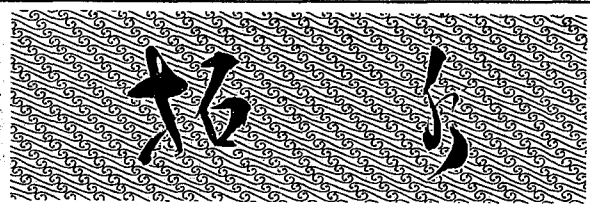


合成洗剤を追放しよう!!

生命のふるさと  
海を守るために



10月号 No.325

一部 10円

(会員の購読料は指導事業経費より支払われています)

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会  
兵庫県水産改良普及協会  
神戸市兵庫区中之島 2-2-1  
TEL 681-6954~7  
発行人 兵庫県漁業協同組合連合会



十一月一日は、第七回  
目の漁業センサスが全国  
水面(池・河川等)の漁  
業の実態を明らかにする  
一斉に行われる日です。

### 五年ごとの見直しです!!

この調査は、海面や内  
水面(池・河川等)の漁  
業の実態を明らかにする  
一斉に行われる日です。

## 瀬戸内海環境保全 特別措置法が制定10周年を 山田会長らに功勞表彰

瀬戸内海環境保全特別  
措置法制定十周年記念意  
事が、環境庁、瀬戸内海  
環境保全知事、市長会議  
社団法人瀬戸内海環境保  
全協会の主催で、神戸国  
際会議場において、県下漁  
業者一九〇名を含め、  
瀬戸内海を取り巻く県市  
町村、企業等(二、〇〇  
〇名)の出府のもと盛況  
のうちに開催された。  
式典は、環境庁水質保  
全局長の開式の辞で始ま  
り、環境庁長官秘書室長  
の式辞が述べられた。次  
に、県漁連山田会長が  
をばじめ個人四名と三団  
体が、環境保全功勞者と  
して表彰され、南添町立  
第一小学校六年生田美  
幸さんの「わたしたちの  
海」の作文が朗読され  
た。瀬戸内海を愛し、守  
るという全員の決意のも  
とで、記念宣言が、高らか  
に謳われた。続いて神戸  
山手女子高等学校の生徒  
として小柳ルミ子コ  
ンサートが行なわれた。  
式典後は、京都市立芸  
術大学学長、梅原猛講師  
により「瀬戸内海と私」  
と題して記念講演が行な  
われ、最後にアトラクシ  
ョンとして小柳ルミ子コ  
ンサートが行なわれた。

### たしかな励まし愛の手を

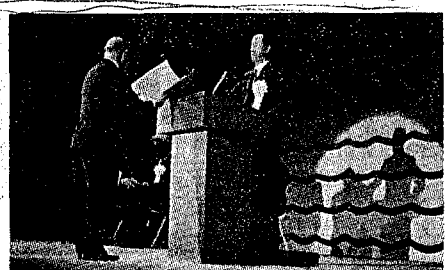
#### 第4漁船海難遺児育英募金運動

・中学生には学資の給与  
高校生へは学資の貸与事  
業を行ない、漁船海難遺  
児の物心両面の支えと  
なっている。  
また、過去三期にわた  
り、全国の漁業と漁業  
関連の事に従事してい  
る皆さんに、調査員が直  
接、お会いして聞きとる  
もので、いわば漁業の国  
勢調査です。  
漁業センサスのあいま  
には次のとおりですが、  
このセンサスの成果が十  
分得られますよう漁業関  
係者の皆さんの方の御協  
力をお願いします。  
一、根拠法令  
統計法(昭和二十二年  
三月二十六日・法律第十  
八号) 指定統計第六十七  
号  
二、調査の期日

### 漁業の「国勢調査」

## 11月1日は漁業センサスの日

一、根拠法令  
統計法(昭和二十二年  
三月二十六日・法律第十  
八号) 指定統計第六十七  
号  
二、調査の期日  
陽和五十八年十一月一  
日  
三、調査の目的  
漁業センサスは、水産  
業の健全な発展、漁業経  
営の安定対策の充実に、沿  
岸水産の積極的な活用、  
漁業生産基盤の整備、豊  
かな漁村の建設などの水  
産行政施策を行うため  
に必要な基礎資料を整備  
することを目的としてい  
ます。  
四、調査の種類及び対象  
(1) 海面漁業基本調査  
漁業経営体(個人経  
営の漁業世帯、共同・  
会社経営などの団体経  
営など)調査  
五、主な調査事項  
(1) 海面漁業基本調査  
業種別、従事人員、日  
数、漁獲高、使用漁船  
及び個人漁業経営世帯  
並びに漁業従事者世帯  
の世帯員の状況



功勞表彰をうける山田県漁連会長

このたび、  
漁船保険制度  
が創始されて  
四十五周年並  
びに、漁船保  
險中央会創立  
三十周年を迎  
え、中央会で  
は、去る九月  
二十六日全共  
連ビルにて記  
念式典を挙行  
し、その席上  
業界発展に貢  
献されました  
炭谷恒男氏、  
酒部竜三氏の  
兩名がはから  
ずも水産庁長  
官より、表彰  
の栄に浴しま  
したことは、  
誠に慶びに存  
じ、皆々様と  
共に喜び、こ  
紙上を通じて  
ご披露いたし  
ます。

### 栄ある水産庁長官賞受賞

も満たないものとなり、  
選族の生活を大きく圧迫  
してきている。  
このため、同育英会  
では今後の育英事業の将来  
とした物価の上昇で、学  
資給与年々減少の教育費充足  
率は幼児39%、小学生74  
%、中学生36%と50%に  
なっている。  
また、過去三期にわた  
り、全国の漁業と漁業  
関連の事に従事してい  
る皆さんに、調査員が直  
接、お会いして聞きとる  
もので、いわば漁業の国  
勢調査です。  
漁業センサスのあいま  
には次のとおりですが、  
このセンサスの成果が十  
分得られますよう漁業関  
係者の皆さんの方の御協  
力をお願いします。  
一、根拠法令  
統計法(昭和二十二年  
三月二十六日・法律第十  
八号) 指定統計第六十七  
号  
二、調査の期日  
陽和五十八年十一月一  
日  
三、調査の目的  
漁業センサスは、水産  
業の健全な発展、漁業経  
営の安定対策の充実に、沿  
岸水産の積極的な活用、  
漁業生産基盤の整備、豊  
かな漁村の建設などの水  
産行政施策を行うため  
に必要な基礎資料を整備  
することを目的としてい  
ます。  
四、調査の種類及び対象  
(1) 海面漁業基本調査  
漁業経営体(個人経  
営の漁業世帯、共同・  
会社経営などの団体経  
営など)調査  
五、主な調査事項  
(1) 海面漁業基本調査  
業種別、従事人員、日  
数、漁獲高、使用漁船  
及び個人漁業経営世帯  
並びに漁業従事者世帯  
の世帯員の状況

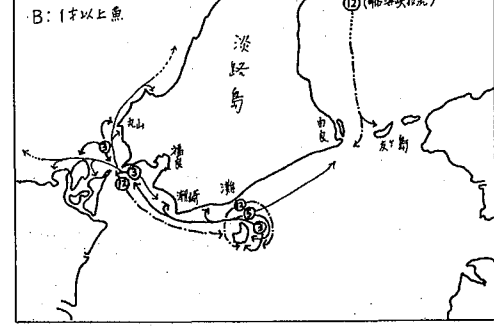
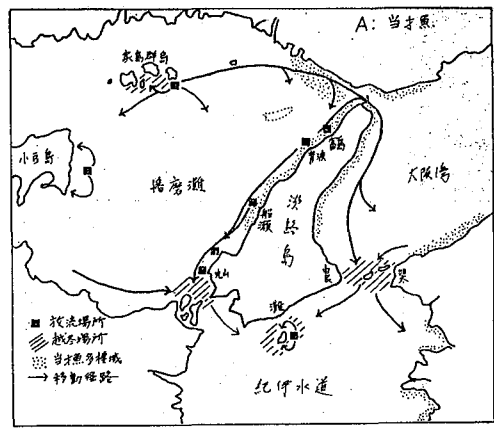
いすゞ  
**マリンエンジン**  
UM06BBIB  
高速への挑戦!  
特長  
1. 小型、軽量、高出力  
2. 卓越した耐久性、信頼性  
神戸いすゞ自動車株式会社  
〒658 神戸市東灘区住吉浜町1-7  
TEL (078) 811-1171(4F)

世界中活躍する技術のヤンマー  
**曳力抜群!** ヤンマー伝統の底力。  
内海船曳35馬力適合機関  
**4HA35**  
水産庁基準適合  
低燃費機関  
**ヤンマー  
ディーゼル**  
ヤンマーディーゼル株式会社

# 水試ノート

## 兵庫県内海側での マダイ標識放流結果

水産試験場では、昭和四十八年以来マダイの標識放流を実施してきた。標識放流の実施状況は第一表に示したとおりであるが、現在までの総放流尾数は、当才魚(カスゴ)が十五万五千尾、一才以上魚が三万尾に達している。ここでは、過去に行った標識放流調査をもとに、マダイの移動・分散状況について総括的に検討した結果を報告する。標識放流に用いた材料は、当才魚が日本栽培漁業協会から、六月上旬に七月中旬に種苗の配布を受け、二・三ヶ月間中間育成したものである。また、一才以上魚は、天然および養殖魚を用いた(第一表参照)。以下、当才魚および一才以上魚のそれぞれを回遊経路について述べる。



第一図 マダイの標識放流実施場所と回遊経路  
○中の数字は放流月を示す

### マダイ標識放流実施状況

(当才魚)

放流場所	放流尾数	放流サイズ
東海島瀬波	4,978	TL 104mm
鳥船泊	500	110
豆色淡路島	4,751	121~130
淡路島	5,500	102
淡路島	5,000	100
淡路島	10,000	94
淡路島	10,310	86
淡路島	10,050	96
淡路島	8,623	78
淡路島	8,014	111
淡路島	8,029	111
淡路島	5,244	111
淡路島	8,008	104
淡路島	8,045	104
淡路島	8,000	104

(1才以上魚)

放流場所	放流尾数	放流サイズ
瀬波	450	TL 210mm
瀬波	351	〃
瀬波	302	〃
瀬波	260	295~400
瀬波	391	〃
瀬波	706	150~290
瀬波	550	295~400

当才魚の放流は、各年とも八月中旬から九月中旬に、平均全長七六・一〇ミリで行った。放流場所は淡路島西岸、家島群島など播磨灘を主体に行った(第一表、第一図参照)。

まず播磨灘北部の家島群島で放流した群では、移動・分散は広範囲にわたったが、放流主群は放流場所から東西二つの方向に分かれて移動した。西方へ移動したのは家島群島周辺海域に分布するものが多かったが、一部は小豆島北海岸から備前瀬戸にまで回遊する個体もみられた。しかし、本群の主たる回遊経路は、図にも示すように、播磨灘東部沿岸を移動して明石海峡を通過して大阪湾に入りさらに淡路島沿岸の深部を南下して友ヶ島水道域に至ることが

明らかなった。

次に、淡路島西岸放流群のうち、北淡路町放流のよび島で放流した群では、淡路島西岸沿いを北上する群と南下する群との二群がみられるが、本群の北上、南下の様子は年によりかなり異なるようである。北群は明石海峡を通過して大阪湾に入るが、その後の回遊経路は家島放流群と同じである。一方、南群は鳴門海峡北部海域へ至る。また、淡路島西岸の中南部で放流した群は、北へ向くはほとんど認められず、冬季には鳴門海峡北部海域にとどまる様子が見られた。

以上の標識放流結果から、兵庫県内海側における当才魚は、移動性が大きく、瀬戸内海東部海岸の回遊を行うことが明らかとなった。図中に当

才魚の多様性を示した。これら天然産カスゴにおいても、標識魚と同様の回遊経路をとるものも推定される。また、鳴門海峡域からみた冬季放流群のうち、沼島水道域および沼島周辺海域などが主な越冬場所であると思われるが、家島群島水域でも越冬の可能性があると思われる(図中の斜線部分)。

一才以上魚は、第一表に示すように、昭和十五年から五十八年にかけて鳴門、沼島海峡を中心に、七群、三千尾を放流している。流時期は冬季および春季

である。これらの放流は、鳴門海峡の出入りの問題、越冬場所の確保、越冬場所からの移動などを明らかにするために行った。

冬季放流群のうち、沼島放流群の動向をみると、潮崎から鳴門の西あるいは北方へ移動する傾向が見られた。沼島から友ヶ島水域へ移動したものは若干数みられたが、両水域間の関連性は薄いと考えられる。鳴門海峽南部で放流した群は、鳴門海峽を通過して播磨灘東部や備前瀬戸に至るものもあり、海峽部における出入りが行われていることが推定される。また、鳴門海峽北部放流群では、水温上昇期に海峽を南下し、紀伊水道側へ移動したものが約二〇%もあったことは、出入りの問題とも関連して興味ある現象と考えられる。

冬季放流群のうち、鳴門海峽南部の中瀬で放流した群は、放流後直ちに沼島西海域への移動がみられた。また、沼島放流群では、大部分のものが沼島周辺海域に滞留した。これらの放流結果から、沼島周辺海域が南淡路域における一才以上魚の越冬場所であると判断できよう。越冬後、一部が水温上昇期に鳴門海峽へ移動するが、これは内

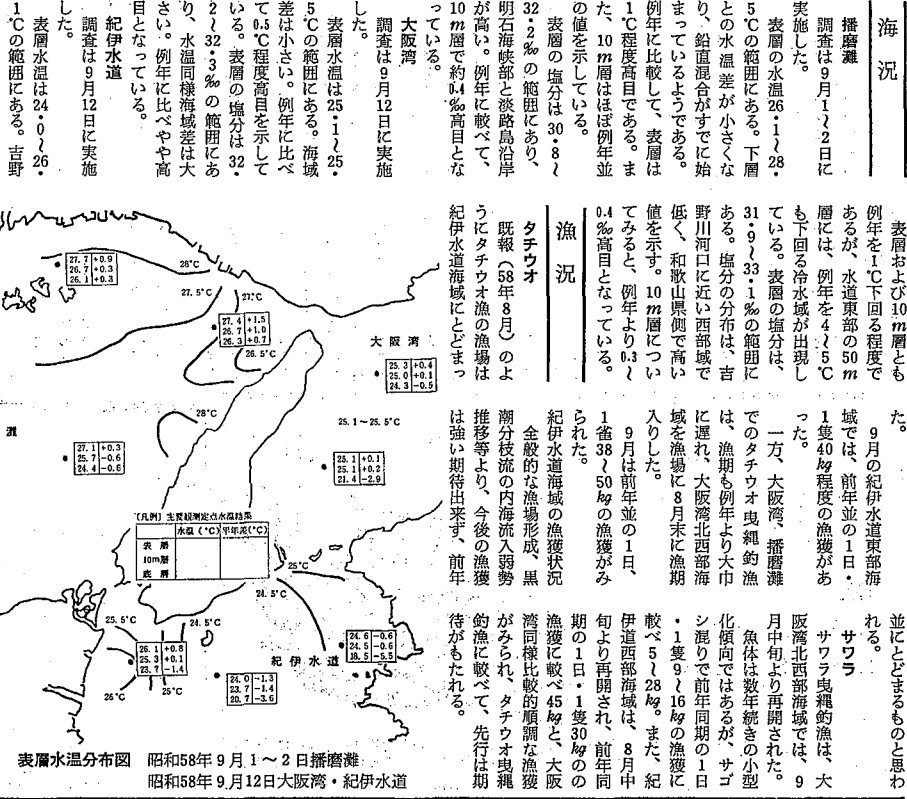
## と漁況 兵庫県立水産試験場

明石海峡・播磨灘東部(明石浦)

漁種	隻数	主魚種	1隻日平均	
			漁獲量(kg)	価格(円)
小型底びき網	25	レイコ	3~4	5,500~7,000
		グレ	4~5	1,500~4,000
		マガ	10~20	800~1,500
		ハラ	5~10	300~400
一本釣	20 20 15	ハチ	13	1,800~2,300
		チ	7~10	1,000~1,600
		オ	38~50	240~280
		ゴ	20	2,000~2,200
延縄	2	ナ	50~60	450
		ゴ	20	2,000~2,200
吾智網	2	マ	5~10	4,000~10,000

大阪湾北西部(明石浦)

漁種	隻数	主魚種	1隻日平均	
			漁獲量(kg)	価格(円)
小型底びき網	30	レイ	4~5	5,500~7,000
		コ	4~5	1,500~4,000
		ガ	10~20	800~1,500
		ハラ	5~10	300~400
一本釣	20 15 40	ハチ	13	1,800~2,300
		チ	7~10	1,000~1,600
		オ	38~50	240~280
		ゴ	20	2,000~2,200



### 海況

播磨灘 調査は9月1・2日に実施した。表層水温は26.1~28.5°Cの範囲にある。下層の水温差が小さく始まっているようである。例年に比較して、表層は1°C程度高い。また、10m層はほぼ例年並の値を示している。表層の塩分は30.8~32.2‰の範囲にあり、明石海峡部と淡路島沿岸が高い。例年に較べて、10m層で約0.4‰高目となっている。

大阪湾 調査は9月12日に実施した。表層水温は25.1~25.5°Cの範囲にある。海域差は小さい。例年に比べて0.5°C程度高目を示している。表層の塩分は32.2~32.3‰の範囲にあり、鳴門海峡でも一才以上魚を主体とした越冬が確認されており、兵庫県内海側におけるマダイ(一才以上魚)の越冬場所は鳴門、沼島、友ヶ島の三海域であると判断された。

以上、マダイの標識放流結果についてその概要を述べたが、当才魚の動向については、明らかにしたと考えられる。しかし、一才以上魚については、鳴門海峽の出入り、越冬後の移動、沼島と紀伊水道南部のマダイとの関連性など、残された問題点を多く抱えている。今後、関係各所の御協力をお願いいたします。

(責任者 松田)

表層および10m層とも例年を1°C下回る程度であるが、例年並の50m層には、例年並の50m層に下回る冷水域が出現している。表層の塩分は31.9~33.1‰の範囲にある。塩分の分布は、吉野川河口に近い西部域で低く、和歌山県側で高い値を示す。10m層については、例年より0.3~0.4‰高目となっている。

漁況 9月の紀伊水道東部海域では、前年並の1日・1隻40尾程度の漁獲があった。一方、大阪湾、播磨灘では、漁期も例年より大巾に遅れ、大阪湾北西部海域を漁場として8月末に漁期入りした。

9月は前年並の1日、1隻38~50尾の漁獲がみられた。紀伊水道海域の漁獲状況は、全般的に漁獲形成、黒瀬谷内海流入弱勢がみられ、タチウオ曳網に較べて、先行は期待もたれず、前年

表層水温分布図 昭和58年9月1~2日播磨灘 昭和58年9月12日大阪湾・紀伊水道

# 普及だより ハイ種苗生産軌道にのる

九月に拓水で淡路地区のハイ種苗生産が報告され、今年も成功を納め、約八万五千個のハイ種苗が生産され、八月三十日に香住町、副谷の地先へ放流された。これらは種苗は今年六月二十七日に鳥取県栽培漁業センターから取り寄せられた。ハイ種苗は、今年も同様に種苗生産を行っていましたが、飼育中にハイ種苗と普通の魚も食いによる減少や、水槽からはい上がって死んでしまふものも多く、今年ハイ種苗の放流は各地で影響を受ける淡路県以北の太平洋沿岸域を除く全国各沿岸域に生獲するため、このような種苗生産、放流は各地でさかんに行われ、ハイ種苗の普及が進んでいます。



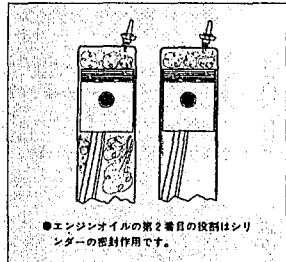
放流前のハイ種苗

但馬地区漁業種類別漁獲高調べ  
<昭和58年1~8月累計>

	昭和58年		昭和57年	
	数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)
沖合底びきり	5,478	335,262	3,258	1,676,627
沖合底びきり網	442	88,791	1,191	986,338
沖合底びきり網	10,103	4,032,682	168	130,247
沖合底びきり網	575	189,159	643	369,132
沖合底びきり網	812	489,527	12	25,417
沖合底びきり網	2,748	631,551	25,417	8,929,317
沖合底びきり網	631,551			
合計				

## 但馬の今年度 水揚げ高は今一步

但馬地区の今年度の水揚げ高は、昨年よりも一歩高くなると見られています。これは、沖合底びきり網の漁獲高が増え、沖合底びきり網の水揚げ高が、前年度対比で数割増えたと見られています。これは、沖合底びきり網の漁獲高が増え、沖合底びきり網の水揚げ高が、前年度対比で数割増えたと見られています。

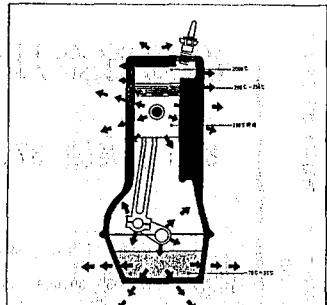


エンジンオイルの第2番目の役割はシリンドラーの密封作用です。

シリンドラーの密封作用が、エンジンの性能に大きく影響を与えます。エンジンの性能を高めるためには、シリンドラーの密封作用を確保する必要があります。

## エンジンオイルの話②

エンジンオイルの役割は、エンジンの各部を潤滑し、冷却することです。また、エンジンの各部を保護し、エンジンの寿命を延ばす役割もあります。



エンジンオイルの第3番目の働きは冷却作用です。

### 83 県民農林漁業祭

11月5日(土)~6日(日) 会場：西宮鳴尾浜公園

● 知ろう兵庫の農林漁業 ● 食べよう兵庫の農林水産物

## 9月の海況

大阪湾北西部(淡路町)

小型底びきり網	30	マサコガレ	ゴビ	8~10	1,100~1,200
船びきり網	31	カタクチシラス		2~3	2,000~2,100
吾智網	4	マダ	イ	5~10	1,100~1,200
一本釣	30	カササギ	ゴ(中)	1~2	3,340
延縄	5	マサコガレ	ゴ(小)	2~3	2,430
刺網	4	ウミタナ	ゴ(大)	0.5~1	5,220
タコ壺	3	マダ		5~10	1,200~1,300

友ヶ島水道周辺(由良漁港)

小型底びきり網	8	マサコガレ	イモゴビ	14	4,300
刺網	17	マサコガレ	イモゴビ	2	4,500
延縄	1	マサコガレ	イモゴビ	8	2,500
		マサコガレ	イモゴビ	5	1,080
		マサコガレ	イモゴビ	25	100
		マサコガレ	イモゴビ	10	400
		マサコガレ	イモゴビ	10	2,300
		マサコガレ	イモゴビ	4	1,800
		マサコガレ	イモゴビ	4	3,000
		マサコガレ	イモゴビ	3	1,800
		マサコガレ	イモゴビ	10	700
		マサコガレ	イモゴビ	35	4,500
		マサコガレ	イモゴビ	10	700

一本釣	96	ササワラ	ワ	ラ	35	1,040~1,250
	16	ブマ	リ	ウ	5	703
		ウマ	マ	ス	35	200~500
まきえ釣	4	マ	イ	イ	2	5,000
		マ	イ	イ	1	3,540
		マ	イ	イ	5	2,000
		マ	イ	イ	8	1,190
		マ	イ	イ	2	1,000
		マ	イ	イ	30	703
吾智網	5	マ	イ	イ	2	2,000
		マ	イ	イ	30	1,140
		マ	イ	イ	3	300
籠縄	5	マ	イ	イ	30	783
		マ	イ	イ	25	1,300
		マ	イ	イ	5	250
		マ	イ	イ	1	1,500
刺網	2	マ	イ	イ	35	800
		マ	イ	イ	5	1,000
		マ	イ	イ	10	500
		マ	イ	イ	1	1,500
	3	マ	イ	イ	3	1,000
		マ	イ	イ	5	800
突棒	14	マ	イ	イ	10	2,100
		マ	イ	イ	1	783
		マ	イ	イ	10(枚)	270
採具	11	マ	イ	イ	50	170~400

(水試：資源部)

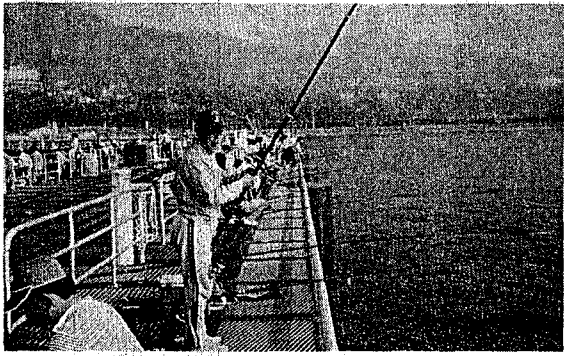


# 沿整法改正後の遊漁問題は

九月五日のNHKラジオ(第二放送)「漁村の皆さんへ」の時間で「沿岸漁場整備開港法改正後の遊漁問題」をテーマに、青塚繁志・長崎大学水産学部教授がインタビューに答えて語っている。遊漁問題、漁業者が全国的に困っている問題だ。沿整法改正で一つの方向が出されたが、実際これで効果があると思うか。

青塚 法律をつくる場合いろいろ配慮を要する。不満足な点は多々あるが、第一段階と理解している。いったん法律が改正されると、再度の改正は非常に難しい。さらに、遊漁問題に真

に詰めなければならぬ問題がいくつかある。第一、段階と理解するの、例えは、親指漁業のために振興区域といつもの、遊漁問題に真に



つり客でにぎわう海づり公園

## 漁協貯金月報

8月末実績 37,963百万円

	56年度	57年度	58年度
前年度期末残高	37,405	39,059	39,693
8月末高	34,460	36,256	37,963
増加額	△ 2,945	△ 2,803	△ 1,730
増加率	△ 78%	△ 72%	△ 43%

昭和58年8月末漁協残高は379億6千万円で対前年同月比4.7%の増加となっておりますが、前月増加率は△1.1%の落ち込みであります。また、58年3月末対比では17億円の減少であり、今後の特別貯蓄運動に全力を傾注されたいとお願いいたします。

全国漁協連報値		
残高	前月対比	前年同月
13,692	△ 0.8%	60%

たと思う。その意味では何かの足りない。必要ある場合、もう少し厳し

これらで漁業者は被害者の立場にあった。今回の法改正では全く役に立たないとの不満の声が

### 食料供給とレジャーの別が

沿岸の磯を大事に守りながら資源を管理している所もある。そういう地域は漁民の占有地帯で

「作花古年兵隊居られま

故郷の消息を聞いたので

川上 柏木 磯田 本

酒井 吉津 谷口 竹中

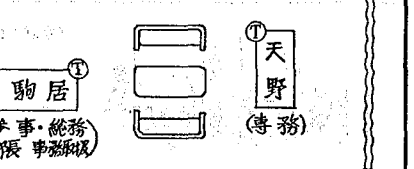
久保 山田 富 永

ない人もあるだろうがレジャーの方法は他にいくらでもある。他人が生活をかけている漁場において行かなくても、他の方法でもレジャーはいくらでもある。漁業者は、そこで魚をとらなければ明日の生活ができない。国民経済的にウェートの重みはまるっきり違うと思

## 兵庫県信漁連職員配置図

(昭和58年9月1日現在)

住所: 神戸市兵庫区中之島2丁目2番1号 (〒652) 兵庫県立水産会館内  
電話番号: 078 (68) 8185~8



「作花古年兵隊居られま

